

## 2021年の世界の食料貿易額は過去最高に

FAO「食料アウトルック」、2021年の生乳生産量を1.5%増加と予測、乳製品貿易量を4.2%増加に修正

国連食糧農業機関(FAO)は、世界の農産物需給などの概況を見通す「食料アウトルック(Food Outlook)」報告書を毎年2回公表している。11月11日に公表された最新号では、食料品の国際的な取引価格と輸送費の上昇が原因で、2021年の世界の食料貿易額は過去最高となることを予測している。乳・乳製品の市場動向として、2021年の世界の生乳生産量は2020年比1.5%増の9億2800万トンに達すると予測し、アジアと北米を中心にすべての地域で生産量の拡大が見込まれるとしている。また世界の乳製品貿易量は、2021年には4.2%増の約9000万トン(生乳換算)になると予測している。これは主に粉乳とホエイの輸入増加が予想される中国が牽引するとしているが、ここ数ヶ月は中国では国内生産量の増加と消費者需要の低迷により輸入量の伸び率は鈍化していることも伝えている。報告書のうち乳・乳製品の市場動向とニュースリリースの概要を以下に紹介する。

### 【食料アウトルック】(\*1)

#### 乳・乳製品の市場動向

2021年の世界の生乳生産量は、2020年比1.5%増の9億2800万トンに達すると予測され、アジアと北米を中心にすべての地域で生産量の拡大が見込まれる。乳牛頭数の増加、農場の生産性向上と投資が、アジア、特にインド、中国、パキスタンでの増加を牽引している。米国では、

2021年6月以降、酪農経営の利益率が縮小していることを理由に乳牛の淘汰が進んでいるものの、個体乳量の増加と乳牛の頭数の多さが生産量の増加を支えている。南米では、降雨量の減少と穀物価格の高騰により酪農家の利益率が低下し、生産量の若干の減少につながっている。一方、オセアニアでは、牧草地の状態が順調であることと、乳価が有利であることによ

### 世界の乳・乳製品市場の概観

世界総量	2019年	2020年 (推定)	2021年 (予測)		増減(%): 2021年/ 2020年
			6月	11月	
総生乳生産量(百万t)	895.9	914.3	921.1	928.1	1.5
総貿易量(生乳換算百万t) <sup>1</sup>	77.7	86.0	87.9	89.6	4.2
<b>1人当たり消費量</b>					
世界(kg/年)	116.1	117.2	116.8	117.7	0.5
貿易のシェア(%)	8.7	9.4	9.5	9.7	2.7
<b>FAO 乳製品価格指数 (2014~2016年=100)</b>	<b>2019年</b>	<b>2020年</b>	<b>2021年 1~10月</b>		<b>増減(%): 2021年1~ 10月/2020 年1~10月</b>
	103	102	117		16.5

<sup>1</sup> 2020年以降、グレートブリテン及び北アイルランド連合王国は、貿易データを集計する際に、EUとは分離した国として扱われている。

り生産量の増加が維持される見込みである。欧州連合(EU)では、乳量の増加と春の好天により牧草地の改善が進み飼料コストの上昇を抑えることができたため、乳生産量は緩やかに拡大する見込みである。中米・カリブ海地域では、主に商業的な農場に支えられ、乳生産量はわずかに増加すると予想されるが、アフリカでは伸び率の鈍化が予想される。

世界の乳製品貿易量は、2021年には4.2%増の約9000万トン(生乳換算)になると予測される。これは主に粉乳とホエイの輸入量が29%増加すると予想される中国が牽引するものである。ただし、ここ数ヶ月は、中国では国内生産量の増加と消費者需要の低迷により、輸入量の伸び率は鈍化している。その他の地域では、メキシコ、インドネシア、ベトナム、及びバングラデシュで輸入量が増加すると予想される。これは、消費者や乳業メーカーの需要が国内生産量の増加予想を上回るレベルで増加していることを反映している。対照的に、消費者需要の減少、関税割当量の決定、新型コロナによる市場の混乱により、東アジア、ヨーロッパ、中東のいくつかの国では輸入量が大幅に減少すると思われる。輸出面では、生産量の増加と競争力のある価格により、米国、ニュージーランド、オーストラリア、EU、アルゼンチンなどからの販売が増加する見込みで、中でも粉乳とチーズの販売量が最も増加すると予想される。

今年6月から3ヶ月間の短い期間を除いて、2020年半ば以降、乳製品の国際価格は上昇した。これは、特にアジアからの持続的な輸入需要と、世界の主要生産地域からの輸出可能な供給が概して逼迫していることに支えられたものである。

## 【ニュースリリース】(\*2)

### 2021年の世界の食料品輸入額は過去最高に

今回の報告書によると、世界の食料品貿易は促進されており、数量・金額ともに過去最高を記録する勢いであるとしている。

FAOは、世界の食料貿易は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行による混乱に対して著しい回復力を示してきたが、食料品やエネルギーの価格が急速に上昇していることが、所得の大部分をこれらの基本的な必需品に費やしている貧しい国と消費者にとって大きな課題となっている、とこの新しい「食料アウトルック」の中で述べている。

FAOは、世界の食料輸入額が2021年に史上最高額となり、1兆7500億米ドルを超えると予想している。これは、前年比で14%増、2021年6月に発表された以前の予測よりも12%増となる。この増加は、国際市場における食料品の価格上昇と、輸送運賃の3倍の上昇が原因である。

開発途上地域の食料輸入総額は全体の40%を占めており、2020年に比べて20%増加すると予想される。低所得・食料不足国(Low-Income Food-Deficit Countries)では、食料輸入量の増加よりも価格の上昇が原因で、食料輸入額のさらに急速な増加が予想される。

開発途上地域では、穀物、動物性油脂、植物性油脂、油糧種子などの基本食料の価格が急激に上昇しているが、先進地域では、果物や野菜、水産物、飲料などの高付加価値食品が上昇の大部分を占めている。

## 重要ポイント

- 世界の主要穀物の生産量見通しは引き続き堅調で、トウモロコシとコムは2021年に記録的な収穫が見込まれているが、人間の消費と動物の飼料用への穀物利用はより急速な増加が見込まれている。

- 2020/21 年の需給逼迫に続き、2021/22 年シーズンの油糧種子及び派生製品の予測速報では、全体的な供給状況に若干の改善が見られるが、シーズン末のそれぞれの在庫は平均を下回る可能性がある。
- 2021/22 年の世界の砂糖の生産量は、3 年間の減少を経て回復するものの、消費量には届かないと予想される。世界の砂糖貿易量は、主要輸出国での供給量の減少と価格の上昇により、わずかに減少すると予測される。
- 2021 年の世界の食肉生産量は、主に中国の生産量の急速な回復、特に豚肉の生産量の増加により、増加が予測される。オセアニアを除くすべての主要生産地域において、需要の増加に牽引されて顕著な生産量の拡大が見込まれる。世界の食肉貿易は、特にアジアとヨーロッパの主要輸入地域で輸入量の減少が見込まれており、成長が鈍化する可能性がある。
- 2021 年の世界の生乳生産量は、アジアと北米を中心としたすべての主要生産地域で増加が見込まれ、拡大が予測される。世界の乳製品貿易も、新型コロナ禍による市場の混乱からの経済回復が進む中、拡大すると予測される。しかし、ここ数ヶ月は、国内生産の増加と消費者需要の低迷により、輸入の伸び率は鈍化している。
- 2021 年の水産・養殖業生産高は 2020 年比で 2.0%増加すると予測されており、新型コロナ禍が引き起こした価格上昇による新たな市場力学は長期的に続く可能性が高いことを示している。魚の貿易は、運賃の高騰や物流の遅れにもかかわらず、回復している。
- 主要な農産物や食料品に関連する先物取引やオプション取引などの金融商品は、「他の高価格水準の年に見られたような投機的

な熱気を集めることができなかった」と報告書は述べている。

### FAO「食料アウトルック」とは

年に 2 回発行され、穀物、植物油、砂糖、肉、乳製品、魚など、世界の主要な食料品の市場需給の動向を FAO が検証している。また、食料品の先物市場や輸送コストの動向についても言及している。

### 参考資料:

(\*1)<https://www.fao.org/3/cb7491en/cb7491en.pdf> Food Outlook, November 2021. P. 7. Food and Agriculture Organization of the United Nations.

(\*2)<https://www.fao.org/newsroom/detail/world-food-import-bill-record-high-2021/en> World food import bill to reach a record high in 2021. Food and Agriculture Organization of the United Nations. (2021 年 11 月 12 日参照)

(Jミルク 国際グループ 新光一郎)